

教科(科目)	保健体育(保健)	単位数	1単位	学年	1年次
使用教科書	大修館書店『現代高等保健体育』				
副教材等	大修館書店『現代高等保健体育ノート』				

1 グラデュエーション及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①本校の特色及び取組を生かした高大接続、教育課程の編成、授業改善により基礎学力の向上を図るとともに、さらなるキャリア教育の実践を推進します。</p> <p>②規律ある学校生活の中で基本的生活習慣を確立し、時代の変化に対応できる能力の向上を図ります。</p> <p>③生徒一人一人の良さや可能性を伸ばし、自立した社会生活を営むことができる力を育てるとともに、生徒の自己実現を図ります。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>総合学科の本校では多様な科目開設という特徴を生かした教育活動を展開し、「産業社会と人間」を基本として3年間を見通したキャリア教育を充実させます。また、地域と連携した実習や就労体験等、地域の教育資源を活用して教養、人間性及び社会性を育てます。</p> <p>①多様な進路希望に対応する選択科目を設け、資質、能力の育成に相乗的であるように教科等横断的な視点に立った指導であること。</p> <p>②学習の継続性に配慮し、主体的・対話的で深い学びが実践できるような基礎基本を重視した教育課程を編成する。</p> <p>③ICTの活用も含め、生徒個々が自身の進路希望を意識した学習態度の早期醸成と高揚につなげられるものであること。</p> <p>④学校設定科目「キャリア実習」をはじめ、科目の設定にあたり地域産業、地域の人材を生かした授業展開ができること。</p>

2 学習目標

<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
--

3 指導の重点

<p>① 健康の意味や意義について理解を深め、現代社会が抱えている健康問題を把握する能力を育てます。</p> <p>② ヘルスプロモーションの重要性と、健康の保持増進のための対策や予防のための基礎的な知識を習得し実践できる態度を育てます。</p>

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。</p>	<p>・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。</p>	<p>・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

5 評価規準と評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	「4 評価の観点の趣旨」を踏まえ、 ・定期考査（ペーパーテスト）の分析 ・授業中の発言・学習への取組の観察 ・保健ノート、学習カード等の内容の確認 などから、評価します。	「4 評価の観点の趣旨」を踏まえ、 ・定期考査（ペーパーテスト）の分析 ・授業中の発言・学習への取組の観察 ・保健ノート、学習カード等の内容の確認 などから、評価します。	「4 評価の観点の趣旨」を踏まえ、 ・授業中の発言・学習への取組の観察 ・保健ノート、学習カード等の内容の確認 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
1 単元 現代社会と健康（1～19）					
4	1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた	3 A 健康の 考え方	・さまざまな健康の考え方について例を あげて説明できる。 ・わが国の健康水準の変化とその背景に ついて説明できる。	3	・授業中の様子 (発言・行動観察) ・保健ノート、 学習カード (記述の確認)
5	3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康	8 B 生活習 慣病とその 予防	・生活習慣病の種類と要因について説明 できる。 ・がんの種類や原因について説明できる。 ・がんのおもな治療法や緩和ケアについ て説明できる。 ・健康と運動の関係について説明できる。 ・食事と健康の関係について説明できる。 ・健康と休養の関係及び適切な休養のと り方について説明できる。	8	・授業中の様子 (発言・行動観察) ・保健ノート、 学習カード (記述の確認)
6	7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康				
6	定期考査			1	
7	9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康	4 C 喫煙、 飲酒、薬物 乱用と健康	・喫煙者やその周囲の人に起こる害につ いて説明できる。 ・飲酒による健康への短期的影響と長期的 的影響を説明できる。 ・薬物乱用防止のための個人や社会環境 への対策例をあげることができる。”	4	・授業中の様子 (発言・行動観察) ・保健ノート、 学習カード (記述の確認)
8	12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復	4 D 精神疾 患の予防と その回復	・精神疾患の例をあげ、発病の要因とおも な症状について説明できる。 ・精神疾患を予防する方法について説明 できる。 ・精神疾患の治療について例をあげて説 明できる。	4	・授業中の様子 (発言・行動観察) ・保健ノート、 学習カード (記述の確認)
9	15 現代の感染症 16 感染症の予防	4 E 現代の	・感染症とは何かについて潜伏期間や感 染力なども含めて説明できる。	4	・授業中の様子 (発言・行動観察)

10	17 性感染症・エイズとその予防	感染症とその予防	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。 ・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保健ノート、学習カード (記述の確認)
	18 健康に関する意思決定・行動選択	3 F 健康の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。 ・社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子 (発言・行動観察)
11	19 健康に関する環境づくり				
11	定期考査			1	
2単元 安全な社会生活(1~6)					
12	1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全	4 G 安全な社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・事故の実態と被害の実態について説明できる。 ・安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。 ・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子 (発言・行動観察) ・保健ノート、学習カード (記述の確認)
12					
1	4 応急手当の意義とその基本	5 H 応急手当	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の意義について説明できる。 ・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について説明できる。 ・心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子 (発言・行動観察) ・保健ノート、学習カード (記述の確認)
2	5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法				
2	定期考査			1	
3	総括				

計35時間(50分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 健康の考え方 3 時間	B 生活習慣病と その予防 8 時間	C 喫煙、飲酒、薬 物乱用と健康 4 時間	D 精神疾患の 予防とその回復 4 時間	E 現代の感染 症とその予防 4 時間
-----------------	------------------	--------------------------	-----------------------------	----------------------------	---------------------------

領域ごとの 授業時数合計	F 健康の考え方 3 時間	G 安全な社会づくり 4 時間	H 応急手当 5 時間
-----------------	------------------	--------------------	----------------

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

7 課題・提出物等

・定期考査時にノートを提出してもらいます。

8 担当者からの一言

- ・「保健」は1年・2年次に1単位時間学習します。
- ・1年時では健康の考え方の変化について学び、現代の健康問題とその対策を理解しましょう。
- ・板書等をしっかり整理し、ノートにまとめましょう。

